

089 耳が聞こえず、舌の回らない人をいやす

マルコによる福音書 7 : 31~37

31 それからまた、イエスはティルスの地方を去り、シドンを経て（主に異邦人が住み、ユダヤ人も多く住んでいた）デカポリス地方を通り抜け、ガリラヤ湖へやって来られた。

32 人々は耳が聞こえず舌の回らない（→ギリシア語で「mogilalos」：明瞭に話せない）人を連れて来て、その上に手を置いて（癒して）くださるようにと願った。
→ユダヤ法では、ハンディを持つ人は、律法を守れるほどの教育を受けていないとの理由から、律法の義務から除外されていた。従って、女性、奴隷、知的障害者、未成年者と同等の扱いを受けた。



33 そこで、イエスは（一対一で対応するために）この人だけを群衆の中から連れ出し、①指をその（耳が聞こえず舌の回らない人の）両耳に差し入れ、それから②唾をつけて③その舌に触れられた。

34 そして、④天を仰いで⑤深く（嘆いて）息をつき、⑥その人に向かって、「エッフアタ」と言われた。これは、（アラム語で）「開け」という意味である。

→マルコによる福音書 8 : 22~23 一行はベトサイダに着いた。人々が一人の盲人をイエスのところに連れて来て、触れていただきたいと願った。イエスは盲人の手を取って、村の外に連れ出し、その目に唾をつけ、両手をその人の上に置いて、「何か見えるか」とお尋ねになった。

→ヨハネによる福音書 9 : 6 こう言ってから、イエスは地面に唾をし、唾で土をこねてその人の目にお塗りになった。

【参考】 聖書にある「天を仰いで」

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 8 / 聖句等の総数 33250 <天を仰いで>8個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : 天を仰いで]
K 創世記	15:5 主は彼を外に連れ出して言われた。「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみるがよい。」そして言われた。「あなたの子孫はこのようになる。」	
K イザヤ書	38:14 つばめや鶴のように／わたしはすすり泣きの声をあげ／鳩のようにわたしは呻く。天を仰いでわたしの目は弱り果てる。わが主よ、わたしは責めさいなまれています。どうかわたしの保証人となってください。	
S マタイによる福音書	14:19 群衆には草の上に座るようにお命じになった。そして、五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて弟子たちにお渡しになった。弟子たちはそのパンを群衆に与えた。	
S マルコによる福音書	6:41 イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで賛美の祈りを唱え、パンを裂いて、弟子たちに渡しては配らせ、二匹の魚も皆に分配された。	
S マルコによる福音書	7:34 そして、天を仰いで深く息をつき、その人に向かって、「エッフアタ」と言われた。これは、「開け」という意味である。	
S ルカによる福音書	9:16 すると、イエスは五つのパンと二匹の魚を取り、天を仰いで、それらのために賛美の祈りを唱え、裂いて弟子たちに渡しては群衆に配らせた。	
S ヨハネによる福音書	11:41 人々が石を取りのけると、イエスは天を仰いで言われた。「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します。」	
S ヨハネによる福音書	17:1 イエスはこれらのことを話してから、天を仰いで言われた。「父よ、時が来ました。あなたの子があなたの栄光を現すようになるために、子に栄光を与えてください。」	

35 すると、たちまち耳が開き、舌のもつれが解け、はっきり話すことができるようになった。

36 イエスは人々に、だれにもこのことを話してはいけない、と口止めをされた。しかし、イエスが口止めをされればされるほど、人々はかえってますます言い広めた。(しかし、これはいかに良い動機であっても、これは神の御心に反することであった。)

37 そして、(人々は) すっかり驚いて言った。「この方のなされたことはすべて、すばらしい。耳の聞こえない人を聞こえるようにし、口の利けない人を話せるようにしてください。」

【参考】 デカポリス(Decapolis)

新約聖書「マタイによる福音書 4 : 25」と「マルコによる福音書 5 : 20、7 : 31」に登場するパレスチナにおけるギリシアの 10 の植民地の町の総称である。「10」を意味する「deca デカ」と「町」を意味する「polis ポリス」、つまり「10 の町」という意味である。

サマリアとガリラヤの東にある異邦人の 10 の都市連合で、これらの都市の建物はアレキサンダー (アレキサンドロス 3 世) 大王に征服された後にギリシア建築に倣って設計され、おのおのの都市は典型的なギリシア都市のようであった (BC4 世紀後半)。これらの都市の住民は異邦人が多く、生活様式もギリシア風であった。

デカポリスの諸都市はそれぞれ議会を持ち、その周辺地域を支配、貨幣鑄造権、裁判権、暦に関する権限を持っていた。またゲラサやフィラデルフィヤの発掘で知られるように、円柱のある幅広い街路、円形広場、神殿、野外劇場などがあった。

また、東方におけるギリシア都市として、ギリシア語を話す移民の者たちを多く引き付け、アラム語文化圏の中におけるヘレニズム文化の中心になっていた。

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 3 / 聖句等の総数 33250 <デカポリス>3個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : デカポリス]
S マタイによる福音書	4:25 こうして、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユダヤ、ヨルダン川の向こう側から、大勢の群衆が来てイエスに従った。	
S マルコによる福音書	5:20 その人は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことをことごとくデカポリス地方に言い広め始めた。人々は皆驚いた。	
S マルコによる福音書	7:31 それからまた、イエスはティルスの方角を去り、シドンを経てデカポリス地方を通り抜け、ガリラヤ湖へやって来られた。	

デカポリスの町は、①ガダラ、②カナタ、③ゲラサ、④スキトポリス、⑤ダマスコ、⑥ディオソ、⑦ヒッポス、⑧フィラデルフィア、⑨ペラ、⑩ラファナの町々である。

これらは、アレクサンドロス 3 世 (大王) の後継者たちによって建てられた。うち⑤ダマスコだけは北方に離れて位置し、ヘレニズム以前からの古い歴史を持つ。

回復訳解説 (7 : 32 脚注)

霊的に耳が聞こえず言葉の不自由な人、すなわち神の声を聞くことも、神を賛美することも(イザヤ 35:6)、神のために語ることもできない人(イザヤ 56:10)を象徴します。口が利けないのは、耳が聞こえないからです。奴隷一救い主のいやす救いは、まず彼の耳を扱ひ、次に舌に触れて、耳が聞こえず口が利けない状態を完全にいやすことができます。



※図はウィキメディア・コモンズ「[デカポリス](#)」を一部加工しています。